

「潜在性結核感染症治療におけるイソニアジド・リファンピシン単剤およびイソニアジド・リファンピシン併用レジメンの安全性と有効性評価の研究」に関係する患者さま、ご家族の皆様へ

当院では「潜在性結核感染症治療におけるイソニアジド・リファンピシン単剤およびイソニアジド・リファンピシン併用レジメンの安全性と有効性評価の研究」との研究を行っています。潜在性結核感染症とは、結核菌に感染しているが発病していない状態で、そのうち1割が生涯のうちに発病するとされていますが、治療により防ぐことが可能です。従来はイソニアジドによる6ヶ月治療が主流でしたが、近年、海外ではより短期間のリファンピシンによる4ヶ月治療や両剤併用での3ヶ月治療が広く行われつつあります。しかし日本ではこれらの治療レジメンの安全性および有効性は十分に評価されていません。本研究は日本におけるこれらの治療レジメンの安全性および有効性を検討することを目的にしています。なお本研究は、結核療法研究協議会による全国調査の一環として行われます。

〔調査の対象となる患者さま〕

2021年7月1日から2026年6月30日までに、当院で潜在性結核感染症に対してイソニアジド単剤、リファンピシン単剤4ヶ月、イソニアジド・リファンピシン併用3ヶ月のいずれかのレジメンにより治療が行われた患者さまが対象となります。

〔調査方法〕

患者さまのカルテ等の記録をもとに調査いたします。本調査では、患者さまに新たなご負担をおかけすることはありません。

〔患者さまのプライバシーに関して〕

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせください。また、この研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合も以下までご連絡ください。ただし研究結果が学会や学術雑誌で発表された後のご連絡には対応できませんのでご了解ください。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

臨床研究センター 感染症研究部

露口一成

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-1372

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会（IRB）における厳重な審査・承認をうけて実施しています。